

或る音楽批評家の人生 間章を知っているか

アンダーグラウンド音楽好きの間で伝説になっている
批評家の姿を通して時代を語る。

【AA】 12月12～16日、18～21日、東京・神田、
アテネ・フランセ文化センター。17日のみ映画美学
校・第一試写室(電話予約制03-5205-3565)

れることもない。間と同時代を生きたミュージシャンや批評家ら12人の「証言」が続く。

間の資料集めから編集まで携わった大田和志さん(31)は言う。

「協力してくれた方々も、忘れ去られていた間章を通して、現代に『批評の精神』を呼び起こす必要性を感じていたのだと思います」

12人も関係者がいれば、ひとつの事象に対し意見が異なることもあった。編集段階で困っても

「どちらが正しいのかジャッジしない。どの意見にも寄り添う」と青山監督は話したという。

「間章はひとつのスイッチに過ぎなかったと思うんです。間章を切り口に、人々が口を開き、時代が浮かび上がる。父親が問世代の僕としては不思議な感覚。熱かった時代を羨ましく思う気持ちもありました」(大田さん)

7時間23分、ひたすらインタビュは続く。だからこそ「時代」を体感できる。

ライター 古谷ゆう子

「間章」をご存じだろうか。1970年代のフリージャズ、プログレッシブロックを批評した

だけでなく、自らステイプ・レイシー、デレク・ベイリーら音楽家を日本に招聘。78年に32歳で夭折するまでの自身の活動を「音楽産業の側からミュージシャンや聴き手の側に音楽を取り戻す戦い」と評した音楽批評家だ。

中学時代に絶的な影響を受けたという、映画作家・青山真治が間を主題にしたドキュメンタリー映画「AA」が公開される。

間の人生を追っただけの作品ではない。間のビジュアルは一度も出てこなければ、当時の映像が流



近藤等則、副島輝人、大友良英ら12人のインタビューからなる全6章、2部構成